

今年度の主な活動状況について

- 平成22年4月1日 事務局 安藤浩司(淡路市中央公民館長)さん、指導員 森岡 達さん(新任2名)
- 平成22年4月14日 公開発明教室の実施、クラブ開始式の開催
- 平成22年7月11日 創立20周年事業(記念式典:永年功労表彰)、記念講演会:大阪万博から上海万博へ講師、佐野武仁(昭和女子大学院大学教授)
- 平成22年8月25日 (株)三和製作所 見学 指導員3名 クラブ員10名参加
- 平成22年9月27日 兵庫県学生児童発明工夫コンクールに出品(出品者9名)
- 平成22年11月3日 神戸市青少年科学館 上記工夫展の出品作品の見学、授賞式に出席
〃 兵庫県学生児童発明工夫コンクール表彰式 特賞 仲井夏騎君 受賞
- 平成22年11月14日 第一回淡路少年少女発明クラブ作品展の開催(7日間)
- 平成22年11月20日 全国学生児童発明工夫コンクールに出品 1点(仲井 夏騎君)
- 平成22年11月23~24日 チャレンジ創造コンテスト全国大会に出場、クラブ員4名指導員等4名参加
- 平成22年11月27日 発明協会兵庫県支部80周年記念式典において 奨励賞受賞 堀口 純

今年度末までの予定

- 平成22年2月12日 指導員会(次年度指導計画の作成、今年度評価反省)
- 平成22年3月12日 終了式 開催(修了証・記念品交付)
〃 運営委員会(指導員はオブザーバーとして参加できます)
平成22年度実績報告、平成23年度の事業計画について

淡路市内の小中学校長に説明・募集チラシ配布



平成22年度開始式 森和重会長 あいさつ



22年度公開発明教室「びっくりうちわ」の製作



びっくりうちわ完成品



創立20周年記念式典 門淡路市長より祝辞



記念講演会、佐野武仁教授



神戸市立青少年科学館 発明工夫展見学



県発明工夫コンクール「特賞」受賞、仲井夏騎 君



第一回淡路少年少女発明クラブ作品展 (しづのおだまき館)



(社)発明協会兵庫県支部創立 80 周年記念
発明奨励賞 受賞 堀口 純



チャレンジ創造コンテスト兵庫県の最優秀成績チームとして全国大会(東京)に出場



競技指導者打合せ会メンバー(上)



小堀先生 指導風景

立谷先生 指導風景



(株)三和製作所 見学(島内体験学習)



淡路少年少女発明クラブとは

生まれも育ちも「産」「学」「官」という一貫した精神のもと、国が進める科学技術基本法を踏まえて過去20年間取り組んできました。何もないところから掘り起こした事業であり、関係者の多大のご尽力により今日に及んでいます。日本国の将来を考えると、決して現状では不満足な状況でありこのまま放置して行くわけにはまいりません。最近現政権下で科学技術の振興を積極的に推進する姿勢がうかがえるようになりましたが、それらは大学や研究機関における先端技術関連といった限られた範囲にとどまり、青少年に対してはまだ十分に目を向けていません。本来、将来の発明者となる子どもに制度上の措置が必要ですが全国各地の地方公共団体においてもまだまだ十分とはとても言えない実情です。

当クラブでは、指導面でのスキル向上が見られますが、運営面の脆弱さが危惧されるところであります。加えてクラブ員になる児童数が20年前と比較すると激減しており、毎年クラブへの申込者も減少傾向となっています。偉大な発明者は、クラブ員の人数に関わりなく生まれてくるものと思いますので、運営面や指導面での体制強化と充実に努めてまいりたいと考えています。新年度から淡路市内の事業所や有志の方々の支援体制の拡充を積極的に行ってまいりたいと考えています。

何はさておいても、クラブの活動状況を役員の方々は無論のこと住民のみなさまに情報提供してまいりたいと思っておりましたが、遅ばせながらASIC(Awaji_syounen_syoujyo_invention_club)ニュースを発刊することが出来ました。どうか多くの方がこのニュースにご意見やご投稿頂けますようお願いしています。更なるご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

新年度から下記のホームページにてクラブの事業内容、諸行事、教室のホットニュースをお伝えします。

http://www.tsuna.info/07_awaji_syounen_syoujyo_hatumeikurabu/awaji_syounen_syoujyo_hatumei_kurabu_01.htm

運営委員について若干名の増員を計画しています。

チャレンジ創造コンテスト全国大会に参加して

全国で43チーム、当クラブは唯一兵庫県代表として選抜されました。クラブ員4名、随行者4名で上京上位の成績でしたが、残念ながら入賞できませんでした。決め手は、ゴム動力で駆動する場合の後輪の直径を大きくすること、CD等を用い車輪の接地面積を極小とすること、輪ゴムの組み合わせをうまく工夫することなどでした。次年度も類似のコンクールが開催されますので再度挑戦で入賞を果たしたいです。

兵庫県学生児童発明工夫コンクールに出品して

今年も特別賞の受賞者が1名、当クラブから選考されました。全国コンクールには入賞できず残念でした。今年の反省点は、あと少しの工夫と発明品の説明をよりわかりやすく文章化することにあると思われました。5月から8回、アイデア工作にチャレンジして、マイ・発明を完成していただきました。これはクラブ員にとって一生の良き思い出になったことだと思います。なかなかこのような機会を得ることができないだけに大事に作品を記憶に留め経験を生かしてください。次年度、恩賜発明賞の受賞ができますように……

島内体験学習について

島内の地場産業を見学し、地域社会で将来活躍していただけるよう、まずは、どのような会社等でどのようなモノづくりをしているのか、多くの興味をクラブ員に持っていただけるよう見学先を選んでまいりました。会社さまも大変協力的に歓迎していただき、この行事は毎年大人気です。クラブ員のみなさま、または役員のみなさまから見学先のご要望・ご提案などいただければ大変助かります。よろしくお願いいたします。

発刊に寄せて

ニュースは4半期に1回と計画しましたが、今年度はほぼ期末に1回の発刊となってしまう誠に申し訳なくお詫び申し上げます。指導員以外の関係の方にきめ細やかにお知らせするとともに市内の多くの方にこの活動に参画または関心を持って頂ければ幸いです。どうかご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。次回からは、広報担当者を定め、定期刊行が約束できると思いますのでご期待ください。